

交通死亡事故ゼロ1000日達成



町内の交通死亡事故ゼロの日数が、6月3日に『3500日』を達成し、6月8日に公益財団法人北海道交通安全推進委員会（堰八義博会長）から上ノ国町交通安全推進委員会（工藤昇会長）への表彰状が小林敏克檜山振興局長から伝達されました。また、江差警察署の穴澤勝史署長が感謝状を同推進委員会と湯ノ岱、大留、上ノ国滝沢の各地区交通安全協会関係者に手渡しました。

現在、本町は道南地域での交通事故死ゼロの記録が最長となっており、悲惨な交通死亡事故をなくすためにも、引き続きご協力をお願いします。

日々の訓練の成果を披露 上ノ国町消防団総合演習

6月10日、災害現場で応用力の向上などを目的とした上ノ国町消防団（飛鳥正人団長）総合演習が役場前駐車場で行われ、団員74名が参加しました。

演習にあたり飛鳥団長より「基本動作の反復が重要」と訓示が述べられた後、各分団ごとに行動訓練、実際の機材を使用した放水・中継訓練が行われ、日頃の訓練の成果を披露していました。

江戸時代の町火消に由来する消防団は、本業を別にもつ一般市民で構成され、火災などの災害発生時に出勤し、団員は非常勤地方公務員となります。上ノ国町消防団では、近年、団員の高齢化が進んでいることから若い団員を募集しているとのことでした。



むし歯のない子を目指して



町内の保育所に通う子どもに、歯磨きの大切さを知り、正しいブラッシング法を身につけてもらうこと「はみがき教室」が6月5日から6日にかけて町内各保育所で行われ50人が学びました。

始めに、むし歯予防について説明した紙芝居が読まれ、続いて保健師の指導のもと、歯の汚れが赤くなる染め出し液を用いて、磨き残しがないか確認しながら歯磨きを行い、子どもからは、「歯磨きを頑張りたい」との声が聞かれました。

町内の3歳児がむし歯になる割合が平成16年では50割でしたが、平成29年には13・8割と大きく改善しています。むし歯のない子を目指すには、家庭での歯磨き習慣と、大人による仕上げ磨きが大切です。

左右の確認を忘れずに

5月30日、上ノ国保育所に通う子どもに交通安全などの指導を行う「こぐまクラブ」が行われ、園児33人が参加しました。

はじめに江差警察署の署員が不審者への対処方法を説明し、「あやしい人から声をかけられたら『いかのおすし』を思い出して」と話すと園児は大きな声で返事をしていました。

その後、交通安全指導では、信号機の色や並びの意味を教わった上で、保育所そばの横断歩道へ移動して、園児は署員や保護者が見守る中、習ったとおりに青信号に変わったことを確認の上、しっかりと左右を見ながら横断歩道を渡っていました。

